



マリー・タイン博士 特別セミナー

『インバウンド顧客ニーズを探る』

— ニュージーランドにおける調査からの示唆 —



日時 **3月6日(水)**

14:30~

(開場：14：00~ 講演：約60分間)

会場 **小樽商科大学 札幌サテライト**

〒060-0005 札幌市中央区北5条西5丁目7番地

sapporo 5 5 ビル 3階

【マリー・タイン (Maree THYNE) 氏】

マーケティング博士、ニュージーランドオタゴ大学マーケティング学科准教授。専攻は観光マーケティング、旅行者行動、クルーズ観光など。ニュージーランドにおける観光マーケティング研究の旗手の一人。国際学術ジャーナルに数多くの論文を掲載。

自然大国にして、農業国であり、ワイン産地であり、そして観光立国として成長しつつあるなど、北海道と多くの共通点を持つニュージーランド(人口はおよそ480万人)ですが、観光で稼ぐ力では北海道を大きく上回っているようです。例えば、外国人観光客1人当たりの滞在中の支出額を比較すると、北海道が約178,000円なのに対して、ニュージーランドでは約248,000円となっています。インバウンド観光客ニーズを取り込むことで、経済成長を図ろうとする北海道の地域や企業にとって、自然に恵まれた観光資源を持ち、またオーストラリア人や中国人が主要顧客であるといった共通点がありながら、より多くを稼ぐことに成功しているニュージーランドから学べることは少なからずです。

そこで本セミナーでは、ニュージーランドにおける観光マーケティング研究の旗手の一人であり、本学教員とも共同研究をおこなっている、マリー・タインさんを講師に迎え、クルージング・ツアー顧客調査など直近のニュージーランド国内で収集をおこなったデータや近年の研究成果を踏まえた講演と参加者とのディスカッションを通じ、インバウンド顧客ニーズの理解を深めます。

【定員】 60名 (先着・要事前申込み)

【参加料】 無料

【使用言語】 英語 (配布資料：日本語、質疑応答時 通訳有り)

【申し込み】 小樽商科大学国際交流室

Eメール：inljiimu@office.otaru-uc.ac.jp

※お申込の際に「お名前」、「ご所属」をご連絡ください。

※定員になり次第締め切ります。